

離転職者等職業訓練「介護福祉科」募集案内 訓練生募集

県立和歌山産業技術専門学院では、下記のとおり訓練生を募集しています。
受講を希望される方は、住（居）所地管轄のハローワーク窓口までご相談ください。

◇訓練科目	「介護福祉科」（長期高度人材育成コース）
◇訓練施設	和歌山YMCA国際福祉専門学校 和歌山市太田一丁目12番13号 （厚生労働省指定 介護福祉士養成施設） Tel 073-473-3338 訓練コース番号：5-07-30-207-05-0049

1. 訓練期間（予定） 令和7年4月2日（水）～令和9年3月19日（金）〈2か年〉
2. 募集定員 4名
3. 対象者 下記のすべての項目に該当する方
 - ・介護福祉分野での就職を希望し、公共職業安定所長の職業訓練の受講斡旋が受けられること。
 - ・国家資格等高い知識及び技能を習得し正社員就職を希望する方
 - ・当該訓練コースを修了し対象資格等を取得する明確な意思を有する方
 - ・ハローワークにおける職業相談においてジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングにより当該訓練の受講が必要と認められる方
 - ・訓練期間中に介護福祉士試験を受験する方
 - ・高等学校卒業または、同程度の課程を修了していることが必要です。（高等学校の卒業を証する書面が必要。大学卒業証書でも代用可能）
令和7年3月大学・高等学校卒業予定者は対象としません。
4. 訓練経費 無料。ただし、教科書代、実習着、傷害保険料等の費用は自己負担とします。（2年間で240,000円程度）
5. 募集及び選考
 - ・令和7年2月3日（月）～令和7年3月13日（木）
 - ・住（居）所地を管轄するハローワークでご相談のうえ、入学願書にて所定の手続きをしてください。
※入学願書の申込みとは別に訓練施設の入学願書等に高等学校の卒業を証する書面（卒業証書のコピー・卒業証明書等）を添えて直接訓練施設に3月13日（木）中までに提出する必要があります。
 - ・令和7年3月16日（日）に訓練施設において面接、作文（800字程度）による選考を行います。（受付10:00～10:15 選考開始10:30）
6. 訓練時間等 原則 月曜日～金曜日（土、日、祝日休み） 1日6時間程度
但し、訓練施設のカリキュラムにより、学校行事、宿泊訓練、夜間実習等、土・日・祝日も訓練を行なう場合有。
7. 通学 和歌山YMCA国際福祉専門学校では、20歳以上のマイカーによる通学は可能です。但し、和歌山YMCA国際福祉専門学校には駐車場がございませんので、ご自身で駐車場を確保して頂く事となります。
8. 訓練概要 介護のスペシャリストとして、高齢者や障害者の介護にあたる国家資格としての「介護福祉士」を目指します。高齢者や障害者を援助する上で求められる専門的な介護技術の取得の他、人間理解、社会や福祉制度の理解、そして医学など、幅広い知識と技能を習得します。
9. 取得目標とする資格 介護福祉士
10. その他 令和7年度和歌山県予算が成立しなかった場合、又は厚生労働省との協議が整わなかった場合、本事業は実施しません。また、定員数に関し厚生労働省との協議で変更となる場合があります。

一定の要件を満たす方は「求職者支援制度」により「職業訓練受給給付金」の支給等を受けることができます。詳しくは、ハローワークにお問い合わせください。

問合せ先 和歌山県立和歌山産業技術専門学院 総務課 和歌山市小倉90 TEL 073-477-1253
--

委託訓練カリキュラム（2年間）

訓練科目	介護福祉科： 和歌山・湯浅	就職先の職務	高齢者あるいは障害児のための福祉施設または病院や居宅介護支援事業所など。
定員	4名		
訓練期間	令和7年4月2日 ～令和9年3月19日		
訓練目標	厚生労働大臣指定の介護福祉士養成課程のカリキュラムを中心に、介護のスペシャリストとしての幅広い知識と技能を習得する。		
取得目標資格	介護福祉士（国家資格）		
	科 目	科 目 の 内 容	時間数
訓練の内容	開校式・修了式・オリエンテーション等	学校行事の入学式・修了式・各オリエンテーション等	83
	人間の尊厳と自立	人間の多面的理解と尊厳の保持の必要性について	30
	チームマネジメント論	チームで働く力を養うためのコミュニケーションやチームマネジメントの基礎力を習得	30
	社会福祉援助技術	障害者自立支援制度の理解について	30
	社会の理解	社会福祉の意義と理念を理解し、介護実践に活用できる制度の理解等を学ぶ	60
	キリスト教概論	キリスト教精神に基づいて、全人格の成長と他の人への責任を学ぶ	30
	心理学	自分への気づきと可能性の発見について	30
	介護概論Ⅰ・Ⅱ	介護の意義と役割及び専門性について学ぶ	180
	コミュニケーション技術	適切なコミュニケーションの実践力を養う	30
	点字と手話	点字や手話についての知識と基礎的な技能習得	60
	生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	あらゆる介護場面における個別支援技術を学ぶ	150
	介護実技Ⅰ・Ⅱ	基礎から専門性の高い介護の技術と実践力を養う	180
	介護過程Ⅰ・Ⅱ	介護過程の意義・目的そして必要性を理解する	150
	実習指導Ⅰ・Ⅱ	あらゆる介護場面に対応できる実践力を養う	120
	発達と老化の理解	老化に関する心理や身体機能の変化についての理解	60
	認知症の理解	認知症の理解と基礎的知識の習得	60
	障害の理解	障害と障害者福祉の理解と介護の視点を習得	60
	医学概論	専門職との協働に必要な基礎的医学知識の習得	60
	こころとからだのしくみ	介護技術の根拠となる人間の内外面への理解	60
	医療的ケア	痰の吸引等の在宅介護の先端技術の習得	120
	共生と社会Ⅰ・Ⅱ	社会保障関連制度の理解・国家試験対策・就職支援等	90
集中講義（救急法等）		44	
国家試験対策		60	
		小 計	1777
実習	施設介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	段階ごとのテーマに沿って施設で現場実習する	528
	海洋実習		8
	卒業研修旅行		32
		小 計	568
		合 計	2345
就職支援の具体的内容	服装、話し方、立振舞い等マナー全般についての講習、施設（就職先）選択の方法、面接試験の受け方指導、履歴書の書き方指導、具体的な就職先の紹介		
使用する機械・器具・教材等	移動、入浴、排泄等々あらゆる介護場面に想定される器具、道具を使う。（例）介護用ベット、車椅子、杖、浴槽、様々な補助具など		